

LPガスCP速報(2023年10月積)

1. 10月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **600** ドル (前月比+50 ドル)

ブタン **615** ドル (前月比+55 ドル)

① LPガススポット市況等

LPガス市場をみると、原油市況が急騰、1年ぶりの高値を記録するなか、LPガス市況も大幅続騰となった。中東市場は、減少したサウジ、クウェートのスポット販売も回復傾向、一方、中国のPDH需要は新規プラントの手当てでもみられたが、プロピレン供給過剰でマージン悪化、在庫高と市況高騰で引き合いは弱い。他方、インドが輸入関税を免除して家庭用LPガスシリンダー価格を引き下げたため、輸入が増加、ナフサ高もあり、石化ブタン需要が回復、ブタン高が顕著となった。極東CFR市況は、フレート市況の急騰もあり、第4週でプロパン720 ドル 、ブタン730 ドル どころ、前週比それぞれ20 ドル 、30 ドル の続騰となった。

米国市場をみると、輸出は引き続き好調(グラフ③)、供給は潤沢、需要は低迷し全米プロパン在庫は増加が続き前年同期比2割超増し、5年平均レンジを上抜け、過去最高水準に迫っている。モンベルビュープロパンスポット価格は、原油市況の急騰と中東市場の上げで続騰、エンタープライズのターミナルで停電事故が発生し荷役が遅れ、1週間程度の滞船も発生、中旬に407 ドル まで上げた。月間平均は前月比30 ドル 続騰の382 ドル /トどころ(グラフ①参照)。ブタンは、420~390 ドル で推移。

フレート市況は急騰、史上最高値を更新した。米国市況の高値推移で米国向け船舶が増加、中東市場もインド等の引き合いでタイト化した。中東産と比べ割安な米国玉への需要は堅調で、スポット運賃は(米国~日本)は220 ドル で推移、パナマ運河の滞船を嫌いスエズ・喜望峰経由の運行もみられタイト化に拍車がかかった。パナマ運河の滞船日数は、7~10日に緩和したが干ばつによる制限が続く。CP高で米国産との値差が拡大、米国需要増でフレート高騰継続か。

ナフサ市況は続騰、月間平均は前月比45 ドル の上昇で703 ドル どころ。原油市況の高騰と石化需要回復期待で上げており、石化用ブタンの需要増、市況底上げの背景となった。

バンカーオイルをみると、シンガポールIFO380は月間平均で前月比15 ドル 反落の545 ドル どころとなったが、LSMGO(低硫黄マリンガスオイル)は同40 ドル 続騰の945 ドル どころ、ガスオイルとC重油との格差は400 ドル に拡大した。

10月CPは前年同月比プロパン10 ドル 、ブタン55 ドル のそれぞれ上昇。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算(下記参照)では、前月に比べプロパン1ポイント、ブタン2ポイント上昇、前年同月比ではプロパン5ポイント、ブタン11ポイント高い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート(中東)	120	150	160	180	153
CP先物指標:P	580	580	580	560	575
CP先物指標:B	585	580	575	575	579

② 原油市況等

9月の原油市況は大幅続騰、27日には年初来高値を更新、昨年8月29日以来の高値となった。OPECプラスの協調減産、サウジ、ロシアの供給削減と堅調な需要から世界的な供給不足懸念が市況を押し上げた。一方、金融市場は、追加利上げの懸念が燻ぶり、中国経済(不動産セクター)の低迷で、先行き不透明感が強いが、原油先物市場は、ファンダメンタルズの需給タイトを受け、期近のバックワーデーション(逆ザヤ)スプレッドが拡大、需給逼迫懸念が強まり、ファンド筋の買い越し残も昨年6月以来の水準まで増加した。原油市況は6月下旬から30%以上上昇、金融筋の見通しもブレントで100 ドル まで引き上げている。

○9月積みアラビアン・ライト(9月1~28日までの想定)は96.20 ドル (前月比+6.48 ドル)

熱量等価AL100% プロパン788.74 ドル /ト ブタン777.92 ドル /ト

AL比 プロパン76.07% ブタン79.06%

*上記ALはE I N推計、確定値は後日Webサイトでご確認ください。

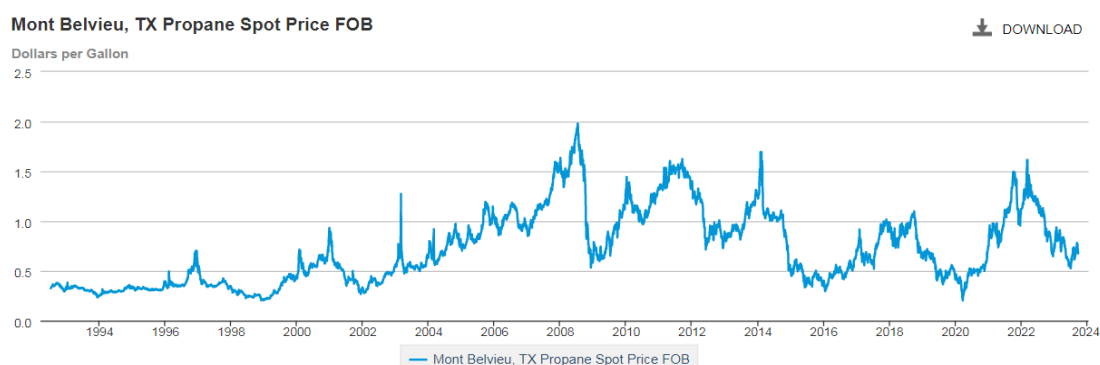
2. 2023年10月LPガス仕切（CP・MBコスト変動分）への影響

適用為替	TTS	P円建CFR	B円建CFR	P前月比	B前月比
9月月間	148.73	96,100	101,100	+12,400	+15,400

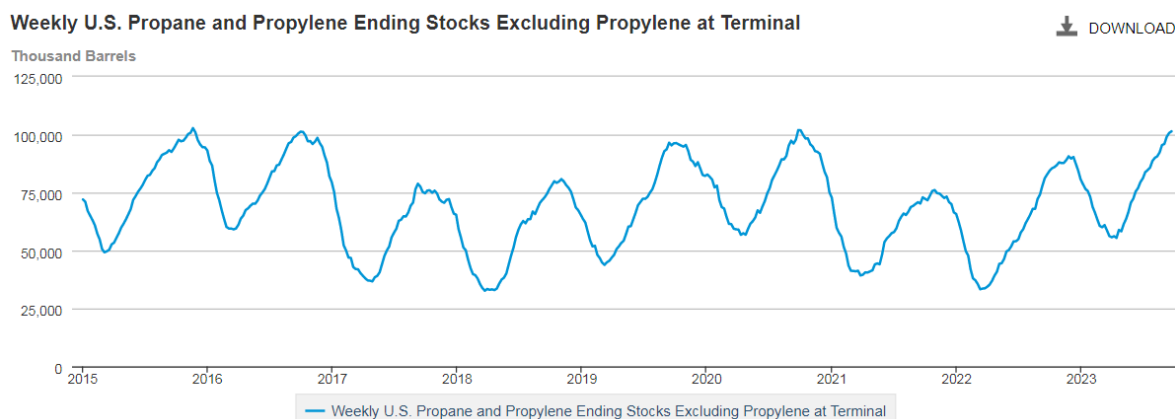
* TTS平均等について、各社の適用為替レートが4月仕切改定から月間平均に統一された。上記は9月1~29日までの平均。CPは前月・当月50%案分。プロパンのMB合成の比率はCP70%、MB30%で算定。CFRコストは中東・北米フレートを含むCFRコストを表示。CFRコストには北米の基地経費等も含まれるが各社で異なる。

なお、上記MBは9月27日までの価格を基にEINで試算（382ドル/トン）したもので、メーカー各社の最終確定値とは異なる。また、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定やフォーミュラ見直しもなされるため、仕切等の詳細はWebサイトを参照。

①米国プロパンスポット価格推移



②米プロパン在庫推移



③米プロパン輸出量推移

